

「朝鮮半島核危機とイラン核危機の比較検証」

2021 年 11 月 23 日 (火) 10:00 ~ 13:00

主催：立命館大学アジア・日本研究推進プログラム

協力：立命館大学コリア研究センター、立命館大学東アジア平和協力研究センター

会場：Zoom ウェビナー

事前予約フォーム



参加方法：無料、事前登録必要（11月21日まで） 定員：100名（先着順）

ご自身の Zoom アカウントにてログイン後、事前登録後にお送りする URL およびパスワードにて、9時50分から58分の間に受付をお済ませください。

使用言語：英語 & 日本語 ※日英同時通訳

講演者
アンキット・パンダ先生

米国科学者連盟 (FAS) シニア・フェローなどを経て、現在カーネギー国際平和財団スタントン・シニア・フェロー（核政策プログラム）。専門はアジア・太平洋を中心とした国際政治および安全保障政策であり、核戦略、軍備管理、ミサイル防衛、米国の拡大抑止に焦点を当て研究を行っている。著作に、"Kim Jong Un and the Bomb: Survival and Deterrence in North Korea (Hurst Publishers/Oxford University Press, 2020)" がある。ニューヨークタイムス、ワシントン・ポスト、フォーリン・アフェアーズ、フォーリン・ポリシー、アトランティック、ディプロマット（上級編集者を務める）、などに寄稿し、かつ CNN、BBC などメディア出演多数。

挨拶 10:00 - 10:05

第 1 セッション 10:05 - 11:10

基調講演：「朝鮮半島核危機とイラン核危機の比較検証」

講演者：アンキット・パンダ先生（カーネギー国際平和財団スタントン・シニア・フェロー）

司会：崔正勲（立命館大学アジア・日本研究機構助教）

休憩 11:10 - 11:25

第 2 セッション 11:25 - 12:50

「緊張緩和、非核化、そして米国の拡大抑止の信頼性を考える」

アンキット・パンダ先生とのトーク

モデレーター：中戸祐夫（立命館大学国際関係学部教授）

コメンテーター：ジェフリー・ルイス（ミドルベリー大学院モントレー校教授） 田中浩一郎（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授）

李鍾元（早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授）、崔正勲（立命館大学アジア・日本研究機構助教）

※プログラムは予告なく変更される場合があります。予めご了承ください。

お問い合わせ：choi-j-h@fc.ritsumei.ac.jp

メディア関係者の方はこちらへお問い合わせください。